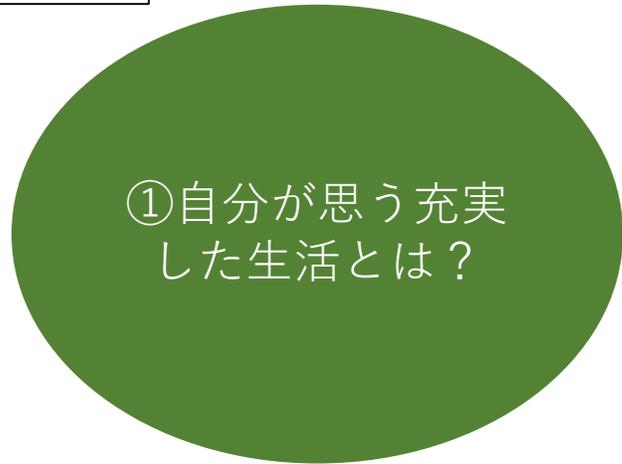


さようミライカイギ 実行委員会

第2回 2023.12.11





人から「ありがとう」と
言ってもらえること

裏方が人が感謝される
イベントにしたい

子どもが自然にか
かわれる環境

人とのつながり
(コミュニティ)

自尊心が満たされるとき
= 主体性をもって物事を
選択しているとき

頭の中の余白が重要
(都会とは異なる情報量)

子育て環境
(子どもの遊び場)

人と交流して、
話をする

満足度を上げていく

目標が達成できる

子どもを自由にさせて
あげる大人の寛容さ

みんなで何か
を作っていく

教育の選択肢の幅

未来に希望がある

ネット環境
の整備

人の役にたって、そ
れが生業につながる

つながりが増える

毎日楽しく生きる

自分の能力を生かして、
人のためになりたい

誰かのために
= 笑顔が増える

今、充実していない
= 仕事もプライベートも忙
しくなったら充実？

人から必要とされる

高齢者になっても
役に立てるまち

目先のことを一歩ずつ
(過去や未来にとらわれず)

関係人口を増やす
= 魅力や想いを発信する

町外在住者やかかわりのある人にもかかわってもらえることが重要

ミライカイギの目的が決まってい
ない中で、話し合うことは難しい

得意なことを出し合って重ねていく
= 今は、そのための情報共有の段階

メゾン・デ（情報発信）
ミライカイギのシェアハウス？

役場でYouTube配信とか？
役場発信で広がるのか？

行政と地域の両輪で動かすべき
（役場は後方支援／役割分担）

佐用町が変わろうとしている
ことを発信していくべき

いろんなところに輪を
作っていけばいいのでは？

想いが一緒の人が出会い、
繋がれる場に

この会に参加した動機？
= これを外に共有していく

解決しなくても、
話す場が重要

世代を超えて
共有・共感していく

若い世代が出会える場
を作るは重要

SNSでつながっていく
= 賛同や意見を募集する

定期的な発信が効果的

対面で話すだけでなく、
SNSで発信してもよい

リアルとSNS等のつながりの
両面を行う（いろんな人
とつながれる可能性あり）

ライブ配信 = 匿名性があり
コメントしやすい

②ミライカイギの
輪を広げていく
ためには？

行政はおもしろくない
時間がかかる／制限がある

佐用町が外からいろんなものを引っ張ってくるべき
(一民間・個人は難しい)

協働のまちづくりは本当に
実現できている？
= 住民代表 (自治会長) の声
だけが住民の声でないはず

想いが一緒の人が出会い、
繋がれる場に

③佐用町について
「行政の強み
・弱みは？」

若い世代の声を聴くことが
できない／機会がない

行政だからできることも多い
(情報提供／人とつなぐ)

ミライカイギが役場を利用する
(お互いの強みを生かす)

佐用町行政は過保護
= 新規参入しにくい

行政の後ろ盾は必要

地元事業者優先でいいの？
(価格も高いのに)

行政がかかわっているから
安心して参加できる